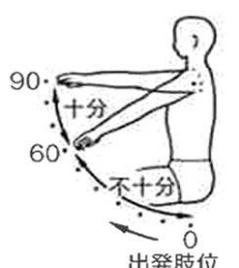
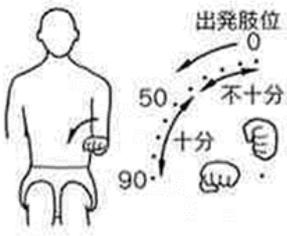
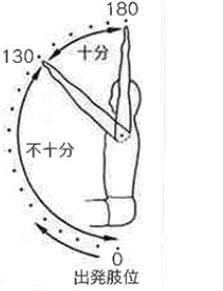
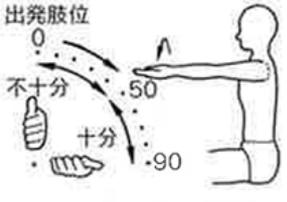
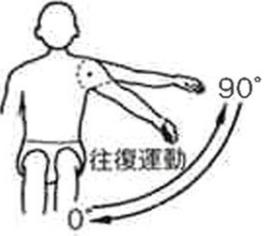


テストNo.	姿勢	種類	出発肢位・テスト動作	判定		検査日 (月/日)						
						1 /	2 /	3 /	4 /	5 /		
1		連合反応 (大胸筋)	出発肢位 ：麻痺側の手先を耳に近い位置に置く (屈曲共同運動パターン)。 テスト動作 ：非麻痺側の肘の曲げた位置から、徒手抵抗に抗して肘を伸ばさせる。その時、麻痺側の大胸筋に収縮が起こるか触知する。 	連合反応	不十分 (無)							
			十分 (有)									
2	背臥位	伸展パターン	出発肢位 ：1と同じ テスト動作 ：「麻痺側の手を反対の腰の辺りに伸ばしなさい」と指示し、大胸筋の収縮を触知する。 	随意収縮 (大胸筋の触知)	不十分 (無)							
			十分 (有)									
3		共同運動 (随意運動)	出発肢位 ：1と同じ テスト動作 ：2と同じ動作で手先がどこまで動くか見る (伸筋共同運動)。 	随意運動	不可能							
					可能	不十分	耳～乳頭					
						十分	乳頭～臍					
							臍より下					
完全伸展												
4		屈曲パターン	出発肢位 ：手先が非麻痺側の腰のところに置くように置く (肘最大伸展位、前腕回内位にする。伸筋共同運動パターン)。 テスト動作 ：「麻痺側の耳まで持っていく」ように指示し、手先がどこまで上がるかを見る。 	随意運動	不可能							
					可能	不十分	0～臍					
						十分	臍～乳頭					
							乳頭以上					
耳の高さ												
5	座位	座位で手を背中後ろへ	手を背中後ろに回す。 手が背中中心線の近くの脊柱から、5cm以内に到達するかどうかを見る。 1動作で行うこと。体幹を大きく動かさないこと。 	不十分	不可能							
					十分	体側まで						
						体側を超えるが不十分						
十分	脊柱より5cm以内											
6		腕を前方水平位に挙上	腕を前方水平位に上げる。 (肘は20°以上曲がらないように注意。肩関節での水平内外転は±10°以内に保つ) 	不十分	不可能							
					十分	5～25°						
						30～55°						
						60～85°						
90°												

テストNo.	姿勢	種類	出発肢位・テスト動作	判定		検査日(月/日)					
						1	2	3	4	5	
7		肘屈曲位で前腕の回内	<p>肘を曲げ前腕の回内(掌を下に向けること)を行う。 肘を体側にぴったりとつけ、離さないこと(つかない場合は失格)。 肘屈曲は$90 \pm 10^\circ$の範囲に保つ。</p> 	不十分	肘が体側につかない						
					体側につくが前腕回外位						
				十分	前腕中間位保持可能						
					回内 $5 \sim 45^\circ$ 可能						
					回内 $50 \sim 85^\circ$						
					回内 90°						
8		肘伸展位で腕を横水平に開く。 上肢は真横から 20° 以上前方に出ないようにし肘は 20° 以上曲がらないように気をつける。		不十分	不可能						
					5 $\sim 25^\circ$						
				十分	30 $\sim 55^\circ$						
					60 $\sim 85^\circ$						
					90 $^\circ$						
9	座位	腕を前方上方に挙上	<p>バンザイをする。肘は20°以上曲がらないようにし、前方からできる限り上にあげる。上肢は横に30°以上開かないようにする。</p> 	不十分	0 $\sim 85^\circ$						
					90 $\sim 125^\circ$						
				十分	130 $\sim 155^\circ$						
					160 $\sim 175^\circ$						
					180 $^\circ$						
10		肘伸展位で回外	<p>肘伸展位で前方に上げて、前腕を回外する(掌を上に向ける)。 肘は20°以上曲げず、肩関節は60度以上前方挙上するようにする。</p> 	不十分	前方挙上位をとれない						
					とれるが前腕回内位						
				十分	中間位をとる						
					回外 $5 \sim 45^\circ$						
					回外 $50 \sim 85^\circ$						
					回外 90°						
11		手を肩から頭上へ挙上	<p>手先を肩につけ真上に挙上する。これをできるだけ速く10回繰り返すのに要する時間を計る。挙上の際に肘が20°以上曲がっていないはず、肩関節は130°以上挙上すること。 非麻痺側を先に測定すること。 判定: 麻痺側の所要時間が非麻痺側の1.5倍以下を十分とする。</p> 	所要時間	非麻痺側						
					麻痺側						
				不十分	非麻痺側の2倍以上						
					非麻痺側の1.5 ~ 2 倍						
					十分	非麻痺側の1.5倍以下					
予備テスト		腕を横水平位に挙上	<p>肘伸展位のまま腕を横水平位に開く。これをできるだけ速く10回繰り返すのに要する時間を計る。上肢は真横から20°以上前方に出ないようにし、肘は20°以上曲がらないようにする。 60$^\circ$以上の測方挙上を行うこと。 判定: 麻痺側の所要時間が非麻痺側の1.5倍以下を十分とする。</p> 	所要時間	非麻痺側						
					麻痺側						
				不十分	非麻痺側の2倍以上						
					非麻痺側の1.5 ~ 2 倍						
					十分	非麻痺側の1.5倍以下					